

2010年8月25日

各位

会社名 エナックス株式会社
代表者名 代表取締役 小澤和典
問い合わせ先 03-3944-0039

**株式会社産業革新機構および株式会社ジャフコの引受による
第三者割当増資の実施について**

エナックス株式会社（本社 東京都文京区音羽、代表取締役 小澤和典）は、今般、株式会社産業革新機構（以下「INCJ」）と投資契約を締結し、INCJが当社による第三者割当増資を引受けることで合意いたしました。当社は同時に株式会社ジャフコ（以下「JAFCO」）の運用するファンドに対する第三者割当増資による追加出資についても合意しました。INCJと合わせた資本調達の総額は40億円となる予定です。

当社が扱うリチウムイオン電池は、顧客ニーズに合わせた電気的特性を実現できるラミネートシートタイプのリチウムイオン二次電池（Laminated Sheet Battery：LSB）です。セパレータで隔てた正極と負極を交互に積み重ねた構造により、優れた放熱性・安全性を確保し、同時に大容量・高出力を可能としました。また、筒状・角型の電池に比して、軽量化が可能である特徴も有しております。

このようなLSBが持つ特徴から、多様な顧客ニーズに対応して参りました。また、国内に留まらず、欧州・アジアなど海外市場にも積極的に営業展開しております。

当社は、INCJからの新たな資本参加およびJAFCOからの追加出資を得て、これまでの業容を拡大し、愛知県及び常滑市のご支援も得て新たに愛知県常滑市に新拠点を設立し、産業用途向け大容量リチウムイオン電池の開発と量産体制の確立を目指すことと致しました。

リチウムイオン電池市場は、現在注目されている電気自動車・ハイブリッド自動車（EV／HEV）といった移動体用途のみならず、太陽光発電や風力発



電等の再生可能エネルギーの普及等にともない、産業用・住宅用・系統用の市場が世界的に急拡大することが期待されています。

このような成長が見込まれるリチウムイオン電池市場の一翼を担う為に、従来以上の大容量・高出力化を実現すべく研究開発を加速させ、量産体制を整備する所存です。今回新規にINCJからの出資を受けることにより、当社独自の技術や蓄積された知識を活用して更なる成長を達成し、産業界に貢献できればと考えております。

株式会社産業革新機構（INCJ）について

INCJは、2009年7月にオープンイノベーションの推進を通じた次世代産業の育成を目指して、法律に基づき設立された会社です。総額8,000億円超の投資能力を有しており、革新性を有する事業に対し出資等を行うことで産業革新を支援することをミッションとしています。

・ <http://www.incj.co.jp/>

株式会社ジャフコ（JAFCO）について

JAFCO（東証一部：8595）は、1973年の設立以来、内外の数多くの有望未上場企業に成長資金を提供してきました。国内では、創業時より関与するインキュベーション投資から、ベンチャー・中堅企業投資、事業承継やグループ再編のニーズ等にも対応するバイアウト投資まで、様々な成長段階にある企業への投資と支援を行っています。

累計設立ファンド数：95ファンド、累計出資金額：約8,000億円、累計IPO社数：872社（2010年8月25日現在）

・ <http://www.jafco.co.jp/home/index.html>